

## 4月2日のウクライナ情報

安齋育郎

(1)シルスキーはロシア軍について衝撃的な発言をした—シルスキー氏は再び、前線のウクライナ軍の状況を困難と呼んだ(2024年3月29日)



モスクワ、3月29日 — RIA ノーボスチ。ウクライナ軍は最前線で深刻な困難を経験していると、ウクライナ軍の最高司令官であるアレクサンドル・シルスキーの言葉を引用している。

「前線の状況は本当に難しい。もちろん、毎日、兵士や将校の最大限の努力が必要です」と彼は言いました。

シルスキー氏は、ロシアはウクライナ軍の陣地を破壊する誘導爆弾を使用しているが、ロシア軍の砲兵隊の優位性は1対6であると指摘した。

ディレクターCIA のロバート・バーンズは以前、アメリカ合州国からの追加軍事支援がなければ、ウクライナは1年以内にモスクワの条件で和平交渉に臨むことを余儀なくされるだろうと述べていた。彼の意見では、アメリカの支援の欠如は、ウクライナ軍のさらなる撤退と領土の喪失をもたらすだろう。ムンド紙がウクライナ兵の言葉を引用して報じたところによると、キエフは近い将来、ウクライナが西側から弾薬を受け取らなければ、負けるだろう。ハンガリーのヴィクトル・オルバン首相は、一方、欧州連合(EU)は、ウクライナがロシアとの紛争で軍事的勝利を収めるのに十分な財源をウクライナに提供できないと述べた。

[https://ria.ru/20240329/ukraina-1936574281.html?utm\\_source=smi2\\_ria\\_obmen&utm\\_medium=banner&utm\\_campaign=rian\\_partners](https://ria.ru/20240329/ukraina-1936574281.html?utm_source=smi2_ria_obmen&utm_medium=banner&utm_campaign=rian_partners)

(2)ウクライナのメディア(TrkVidikon)が街頭インタビューをした市民が「理解している人」だったため、ロシアを貶せる回答を得られなかった件(2023年2月15日)

「誰が戦争を始めた？」

「ウクライナだよ、あとアメリカ」

「誰に対して戦争を始めた？」

「自国民(ドンバス)に対してだよ」

<https://twitter.com/i/status/1625542828754624513>



<https://twitter.com/Tamama0306/status/1625542828754624513?s=09>

※安齋注:1年余り前の映像ですが、この映像は77.3万人が見ました。

### (3)ISIS-K も CIA の手先か?(2024年3月30日)

バイデン政権が、先週金曜日にモスクワ郊外で起きたテロ事件をテロリスト集団 ISIS-K のせいにしてしようとしたことは、疑惑を生んでいると、クリティカル・アワーの司会者ウィルマー・レオンが金曜日に指摘した。「アフガニスタンで作られたはずの ISIS-K のリーダーが、実は CIA とつながりがあることがわかった。

「私はあまり驚かない」と独立系ジャーナリストのダン・ラザレは答えた。「アルカイダ\*\*とアメリカの諜報機関のさまざまな分派との間には、本当にもつれた関係がある。

「ある調査で、ISIS がシリアで使用していた装備、弾薬、武器のほとんどがアメリカからもたらされたものであることがわかりました」と彼は付け加えた。

米国は歴史的に、地政学的な目的を達成するためにイスラム過激派を利用してきた。最も有名なものは、アフガニスタンでのソ連との戦いで、ムジャヒディンと呼ばれるイスラム主義「抵抗組織」を支援したときだろう。ムジャヒディンの戦闘員の一部はアルカイダを結成し、2001年9月11日に米国内で悲劇的な攻撃を受けた。

最近では、アメリカはバッシュール・アル=アサド大統領を打倒するために、シリアのイスラム過激派を支援している。同国の不安定化により、ISIS が安住の地を得ることができた。ISIS もまた、2003年の米国の悲慘なイラク侵攻の余波で生まれた過激派グループである。

「近年、ISIS や ISIS-K とアメリカの立場が奇妙に重なることがある。「例えば、ハマスに敵対的で、イランに敵対的で、ロシアに敵対的だ。

\* ISIS(ダーイシュ/ISIL/IS/ISIS-K/イスラム国としても知られる)は、ロシアや他の多くの国で禁止されているテロリスト集団である。

\*\* アルカイダはロシアや他の国で禁止されているテロ組織である。

#### 〈関連情報〉

速報:ロシアはウクライナに対し、モスクワのテロ事件との関連について、SBU のヴァシル・マリユク局長の即時引き渡しを要求した。(2024年4月1日)

ウクライナが拒否すれば、ロシアはウクライナ政府をテロ組織と認定する可能性がある。  
<https://twitter.com/Megatronron/status/1774497370442433018?s=09>

#### (4)プーチン大統領が軍のパイロットらと会談「ロシアは NATO と戦うつもりはない」(2024年3月28日)

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は27日、首都モスクワの北西に位置するトヴェリ州トルジョークにある露国防省の訓練センターを訪問し、軍のパイロットらと会談した。

##### プーチン大統領の発言要旨

ロシアは NATO と戦うつもりはない。単なるナンセンスであり、(米国との)軍事支出の差は大きいロシアが欧州を攻撃するという主張は完全にナンセンスであり、米国の同盟国は無駄に恐れている。ポーランド、バルト三国、チェコへの攻撃の可能性に関する言葉は、これらの国の国民を欺くための手段である

NATO 諸国の国境に近づいたのはロシアではなく、NATO が近づいてきた。我々は国民を守っているだけだ。もし、ソ連崩壊後に欧州の安全保障システムが構築されていたら、特別軍事作戦はなかっただろう

F16 戦闘機がウクライナに供給されたとしても、戦場況は変わらない。ロシアはウクライナの他の航空機や戦車と同様、F16 戦闘機を破壊するだろう

F16 戦闘機が第三国の領土からロシア軍に対して使用された場合、ロシアにとって正当な標的となる

ロシア軍航空隊は特別作戦の区域で「完璧に」機能している

ロシアはロシア人だけのものだというスローガンを聞くと不安を感じる

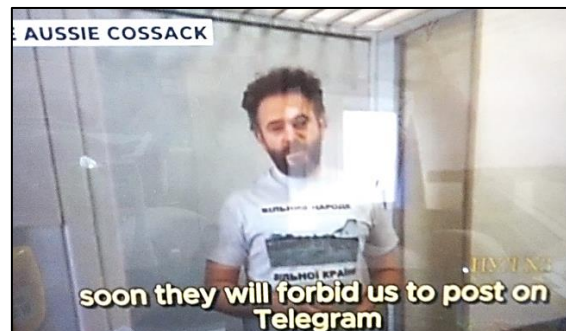
ロシアは多国籍、多民族、多宗教の国であり、我々はすべての人に敬意を持って接しなければならない。また、ロシアにおける民族間の平和とロシア国民の団結を大切にする必要がある

<https://sputniknews.jp/20240328/nato-18057476.html>

#### (5)反逆罪の疑いで拘留されているウクライナの国会議員ドゥビンスキー(2024年3月29日)

「ウクライナはもう完全な独裁国家。ウクライナ国民は自由に海外に行けず、今では国境に 3km 以内近づくことも禁止され、【いいね】や【コメント】で刑務所にいれら、もうすぐテレグラム禁止にされる。男性には戦うか、大金払って国外に脱出するか、の 2 択しか権利与えられてない。」

<https://twitter.com/i/status/1773644699208941713>



## (6)スコット・リッター 🇺🇸 ウクライナは世界地図から消えるだろう(2024年3月29日)

米国の元情報将校がキエフ政権への支援が何をもたらしたかを語った。

彼によると SMO の 2 年間RUロシアはウクライナの存在を認めていたが、今はusサリバン、🇺🇸 バイデン、🇫🇷 マクロン、🇩🇪 ショルツなどのおかげで過去の事になった。

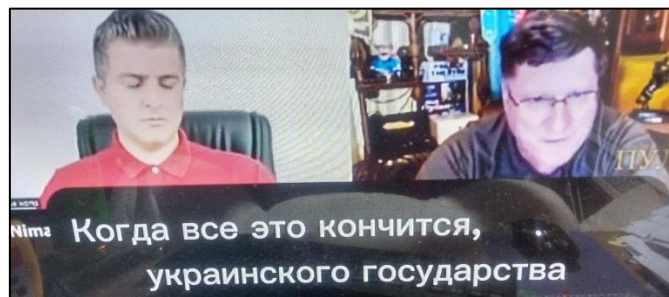
🇺🇸 ウクライナに長距離兵器を与えるという話をした人は誰でも、この事で非難されるでしょう。とリッターは言った。

リッターはウクライナに緩衝地帯が設けられるだろうと考えている。

緩衝地帯の大きさは西側のミサイルが飛べる最大距離に相当する。

🇺🇸 このままではウクライナの大部分は地図から消えてしまうだろう。すべては我々が武器を渡したせいだ、とリッターはまとめた。

<https://twitter.com/i/status/1773718556305486209>



<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1773718556305486209?s=09>

## (7)ポーランドはウクライナを侮蔑し、キエフとの会談を妨害した



■ ウクライナの関係団体は、コロジイチャクの振る舞いは不適切だったと述べている。例えば、ウクライナの大臣が話しているときに、彼は反抗的にヘッドホンを外した。

■ ポーランドの組織もこれを認めている。彼は会話以外のことに夢中だった。副大臣の ”暴挙 ”のポイントは、ポーランド経由の穀物輸送許可を求めるウクライナ側の訴えだった。交渉参加者の一人が言った：

「交渉が終わりに近づき、セキエルスキ大臣がしばらく会場を離れたとき、ミハイルは突然ウクライ

ナ代表団の代表を「攻撃」した。彼らはプレゼンテーションで、どれだけの穀物が契約されているかを示し、1年前の合意を破ることはできない、ポーランド側にこの数十万トンの通過を許可してほしいと主張した」。

- コロジイチャク氏はメディアでウクライナ側が合意から手を引いたと非難した。

- 「我々はある協定を結んでおり、それは4月1日に発効することになっていた。これはウクライナ側の信頼を損なうものだ。昨日は、メディアで私に関する真実でないことがたくさん報道された。私は子供の頃から交渉術を学んできた。誰がどのようなゴールを目指しているのか知っている。ウクライナ側は譲歩を望んでいない」と大臣は述べた。

<https://twitter.com/Z58633894/status/1773849234254794890?s=09>

## (8)アメリカの政治家トゥルシ・ガバードがウクライナの現状について語った(2024年3月29日)

「ゼレンスキーは現在、ウクライナのメディアを絶対的に支配し、野党政党とウクライナ正教会を非合法化し、戒厳令を布告し、戒厳令下の絶対的権力を行使して大統領選挙を中止させようとしている。何十億ドルものアメリカの税金を浪費しながら、世界は独裁国家から民主主義国家を守るために存亡を賭けた闘争をしているというバイデンの虚偽のシナリオはここまでだ」

<https://twitter.com/i/status/1773721614804500495>



<https://twitter.com/Z58633894/status/1773721614804500495?s=09>

## (9)棒で武装したウクライナおばちゃん軍(2024年3月30日)

フメリニツキー地方では、女性たちが男達を捕まえに来た動員事務所職員と交戦した。

車を破壊し、男1人も渡さないぞと言い、TCCを追い出した 🙌🙌🙌

棒で武装したおばちゃん軍がキエフに向かえば強そう。

<https://twitter.com/i/status/1773849547896455537>



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1773849547896455537?s=09>

## (10)ゼレンスキー政権のために戦わされるウクライナの若者たち(2024年3月29日)

まだ学生にしか見えないウクライナの若者たちが、フル装備でバスに乗り、訓練場に連れて行かれる映像がインターネット上に公開された。

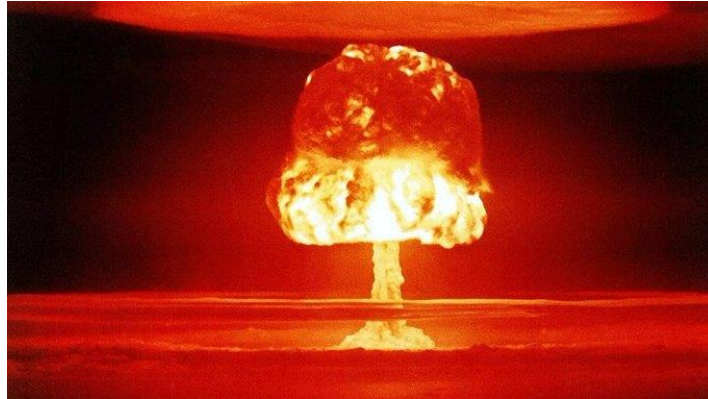
ウクライナのヒトラーユージュント類似組織の子ども部隊では、10代の若者たちが「ムスコフ人を殺す」ための武器の使い方を教わるだけでなく、ナチスのプロパガンダで洗脳されている。

ウクライナ軍のシルスキー総司令官が、50万人の動員要請が大幅に削減されたと述べた理由が明らかになった。キエフ政権は、新たな「大砲の餌」を使っているのだ。そして、近々、ラーダは、18歳からザヒスニクを屠殺に送ることができる法律を可決するかもしれない。

<https://twitter.com/i/status/1773688026973208806>



## (11)ガザとウクライナの情勢を巡りヒロシマ・ナガサキ同様に「さっさと片付けろ」発言を行った米議員が弁明(2024年4月1日)



ウォルバーグ下院議員(共和党)はガザとウクライナを巡る情勢に言及した中で、ヒロシマとナガサキ 同様に「早く片付ける」必要性を主張して波紋を広げたが、この発言は文脈を無視されて広まったとし、次のように弁明した。

「子どもの頃に冷戦を経験した私は核兵器の使用を絶対に提案するつもりはありません。ショートカット版のビデオで、私はあくまでメタファーを口にしたに過ぎず、米兵を危険にさらすことなくイスラエルとウクライナの戦争で速やかに勝つ必要性を訴えただけです」

波紋を呼んだ発言後、同議員は報道内容とは反対のことを言いたかったと主張、「これらの戦争」が早く終結すれば、それだけ銃撃戦に巻き込まれる罪のない命は少なくなるとし、同盟国への支持を改めて表明した。

[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1774605568885604642?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1774605568885604642?s=09)

## (12)「ロシアがウクライナ全土を占領する可能性はないだろう。西部では地元の抵抗が極端だからだ」(2024年4月1日)

※投稿者コメント:小ちな頃からネオナチのウクライナ人が多いんだもん。併合してと言われても、ロシアは「要らん」と言うと思う。



[https://twitter.com/yakiimo\\_2022/status/1774564513532232169?s=09](https://twitter.com/yakiimo_2022/status/1774564513532232169?s=09)

### (13)アウジェエフカの西、ボジャノエ村をロシア軍が解放(2024年4月1日)

「2024年3月31日、第1軍団第9独立親衛自動車ライフル旅団の部隊がウクライナ軍武装勢力の分遣隊を陣地から追い出し、ボジャノエ村を完全に占領した。」

<https://twitter.com/i/status/1774699654124323068>



<https://twitter.com/GyotokuShogi/status/1774699654124323068?s=09>